

施設名	今戸児童館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	-------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、昭和 6 1 年 1 0 月に設立。区立の児童館・こどもクラブおよび高齢者福祉施設の管理・運営を受託している。
②類似施設の管理実績	児童部門：児童館 7 館、1 3 こどもクラブ 高齢者部門：特別養護老人ホーム、老人保健施設、老人福祉センター等の運営
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]収入 2,401,341,470 円,支出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]収入 361,979,008 円,支出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区今戸 1 - 3 - 6
②設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。
③利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日：9 時 3 0 分～1 8 時 日曜日(第 3 日曜日を除く)は一部開放 9 時 3 0 分～1 8 時 休館日 年末年始、祝祭日(5 月 5 日は開放)
⑤規模	R C 3 階建て 図書室・音楽室・図工室・遊戯室等
⑥人員体制	常勤職員 3 人、短時間職員 5 人

3. 事業(サービス提供)の概要

①委託事業	①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用をとおして児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びをとおして児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業
②自主事業	①利用者懇談会 ②小学生のボランティア体験プログラム

4. 施設の稼働状況等

今戸児童館利用状況

年度	開館日数	総数	幼児	小学生	中高生	大人
1 7	3 3 4	2 5, 0 5 5	1, 9 3 2	1 4, 7 5 7	4, 9 3 4	3, 4 3 2
1 8	3 3 5	2 5, 3 6 1	2, 0 5 5	1 3, 7 0 5	5, 3 3 5	4, 2 6 6
1 9	3 3 5	2 7, 4 5 4	2, 1 1 8	1 4, 8 8 2	5, 1 4 1	5, 3 1 3

5. 予算決算の推移

(単位：円)

年 度		1 7 年度	1 8 年度	1 9 年度	2 0 年度	2 1 年度
予 算	委 託 料	41,969,000	42,504,000	43,428,000	43,997,000	
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	41,969,000	42,504,000	43,428,000	43,997,000	
決 算	委 託 料	36,788,949	35,032,543	39,074,398		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	36,788,949	35,032,543	39,074,398		
	収 支	0	0	0		

6. 評価項目	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
---------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2. 2]	(1)施設の目的達成 [3] (2)サービス水準 [3] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [2] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2. 0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2. 4]	(1)利用者・第三者機関の評価 [3] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2. 0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]

7. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
-------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	中高生タイムを始めとして、子ども参画で様々な活動を展開しており、異年齢の交流や地域への貢献などに努力している。
②施設の維持管理	A	施設については、日常の清掃や安全管理に努めており、施設管理も記録されている。
③利用者の満足度	A+	家庭とは違う子ども達の拠点として、利用者の意見や要望を汲み取った事業が行なわれており、「施設にいると楽しい」と評価を受けている。
④歳入歳出	A	指定管理者として、職員全体で経営改革に努力しており、経費の削減、効率性の向上に努力している。
⑤総合評価	A+	学童クラブのない地域のため、家庭に代わる見守りの役割を果たしながら、子ども達の独創性を伸ばす事業展開が行なわれている。

8. 課題への対応等

中高生特有の思春期の問題解決のためにも、地域全体で、子ども達の健全な成長を支える必要がある。そのために、関係機関との連携や施設整備は必須である。個別な対応が必要なケースも増えているため、職員のスキルアップ研修を増やしたり、トラブルなどに迅速に対応できるよう努めていく。